

樞密院書記官

内閣書記官

御中

大正十一年五月十六日日發裁議

五月十六日執行

書記官印



議長

副議長

書記官印

案

一山東懸案解決ニ関スル條約御批准ノ件

右來ル二十日(土曜日)午前十時會議被相關候間
御出席相成度議長ノ命ニ依リ此般及
通知候也

大正十一年五月十六日

樞密院書記官

議長

副議長

各員申書ヲ付ス

親王

(東宮ヲ除ク)

國務大臣

顧問官

宛各通

又

一山東懸案解決ニ関スル條約御批准ノ件

御批准案

本條約原文

本條約譯文

山東懸案解決ニ関スル條約ノ締結ニ付日本國及支那國

委員カ一致シタル議事録記載ノ了解事項(原文)

右譯文

以上ハ裏ニ配付濟ナルモ誤認有之候

本條約説明書(参照)

一右委員會審査報告

右及配付候也

大正十一年五月十六日

樞密院書記官

親王

王

(東宮ヲ除ク)

國務大臣

顧問官 (委員ヲ除ク)

宛各通

又

一山東懸案解決ニ関スル條約御批准ノ件委員會
審査報告

右及配付候也

大正十一年五月十六日

樞密院書記官

議長

副議長

顧問官 (委員タル)

宛各通

又

一山東懸案解決ニ関スル條約御批准ノ件

右来ル二十日(土曜日)午前十時會議被相關候間
説明員出席候様御取計相成度依命此段
及照會候也

大正十一年五月十六日

大正十一年六月十七日

樞密院書記官

議長

右臬申書ヲ付不

副議長

親王(東宮ヲ降)

國務大臣

顧問官

衆名通

又

一「ヤップ」島及他ノ赤道以北ノ太平洋委任統治諸島

ニ関スル日米條約御批准ノ件

御批准案

原文

譯文

「ヤップ」島問題ニ関スル交渉経過

(合冊)(参照)

本條約解説概要

以上ハ彙ニ配付済ニ付者略致候

四野司法、水野内務、荒井農商務、市来大藏、鎌田文部、前田逓信、以上六大臣ハ、本條約ニ付テ、本行ニ有リ

一右委員會審査報告

一關東廳官制中改正ノ件 参照添附

一右書記官長審査報告

右及配付候也

大正十一年六月十七日

樞密院書記官

親 王 (東宮ヲ除ク)

國務大臣

顧問官 (委員ヲ除ク)

右右通

又

一「ヤップ」島及他ノ赤道以北ノ太平洋委任統治諸島ニ関

スル日米條約御批准ノ件 委員會審査報告

一關東廳官制中改正ノ件 参照添附

一右書記官長審査報告

右及配付候也

大正十一年六月十七日

樞密院書記官

議長

副議長

顧問官 (委員タル)

右右通

又

一「ヤップ」島及他ノ赤道以北ノ太平洋委任統治諸島

ニ関スル日米條約御批准ノ件

一閣東廳官制中改正ノ件

右末ル二十一日(水曜日)午前十時會議被相開候間説
明負出席候様御取計相成度依命此段及照會候
也

大正十一年六月十七日

樞密院書記官

内閣書記官 御中


大正十一年六月二十日日發議

六月二十日執行

書記官 板



議長 
副議長 

書記官長 

案

一太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル
領地ニ關スル四國條約並追加協定御批准ノ件
右末ル二十四日(土曜日)午前十時會議被相開
候間御出席相成度議長ノ命ニ依リ此段及通
知候也

大正十一年六月二十日

樞密院書記官

議長

(各具申書ヲ付ス)

副議長

親王 (東宮ヲ除ク)

國務大臣

顧問官

宛各通

又

一太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル四國條約並追加協定御批准ノ件

御批准案原文

譯文

太平洋方面ニ於ケル和蘭國及葡萄牙國ノ島嶼タル屬地ニ關スル權利尊重ニ關スル聲明(和文及英文)本條約並追加協定説明書(参照)

以上ハ彙ニ配付濟ニ付省略致候

岡野司法、水野内務、荒井農商務、市村大藏、編田文部、前田逓信、以上ハ大臣ハ、本日配付ノ故ニ本行ヲ

一右委員會會審查報告

右及配付候也

大正十一年六月二十日

樞密院書記官

議長

副議長

親王 (東宮ヲ降ク)

國務大臣

顧問官 (委員ヲ降ク)

宛各通

又

一太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル

領地ニ關スル四國條約迄加協定御批准件委員
會審查報告

右及配付件也

大正十一年六月二十日

樞密院書記官

議長

副議長

顧問官 (委員タル)

宛各通

一太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル

又

松屋殿

領地ニ關スル四國條約並追加協定御批准ノ件
右來ル二十四日(土曜日)午前十時會議被相開
候間説明員出席候様御取計相成度依命
此段及照會候也

大正十一年六月二十日

樞密院書記官

内閣書記官 御中

樞密院

大正十一年六月二十日

書記官



書記官長

案

一太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ関スル四國條約並追加協定御批准ノ件

右件ニ関シ本日配付致置候議案中御批准案ハ別紙ト御引換相成度此段申進候也

大正十一年六月二十日

樞密院書記官

樞密院

岡野司法、水野内務

荒井農商務、市来大花 大臣宛

鎌田文部、前田通信

右通

注意

別紙七條約及協定ノ御批准案ハ一葉ニ印刷スルコト

大正十一年六月

日發議
日決裁

月 日執行

議長 

副議長 

書記官長 

書記官 



案

一海軍軍備制限ニ関スル條約御批准ノ件

一潜水艦及毒瓦斯ニ関スル五國條約御批准ノ件

右来ル二十八日(水曜日)午前十時會議被相開候

間御出席相成度議長ノ命ニ依リ此段及通知候也

大正十一年六月二十四日

樞密院書記官

議長
副議長

各員申書ヲ付ス

親王

(東京ヲ降ク)

國務大臣

顧問官

外右通

又

一海軍軍備制限ニ關スル條約御批准ノ件

御批准案

原文

譯文

本條約說明書(参照)

日、米、英、佛、伊、保有及廢棄主力艦要目表(参照)

以上各案 配付済 付有略致候

十布本員會審本報告

一潜水艦及毒瓦斯ニ關スル五國條約御批准ノ件

御批准案

原文

譯文

本條約解説概要(参照)

以上各案ニ配付済ニ付有略致候

國野司注、水野中務、荒井憲助、
本末大佐、鎌田文部、前田通侯

以上各大臣(署名)
故ニ行フ者ノ

樞密院

一右委員會審查報告

右及配付候也

追テ海軍軍備制限ニ関スル條約譯文ノ正誤表御

下付相成候ニ付併テ及配付候

岡野司以下六大臣へ配付ノ議案
ニ正誤記入清テ此追書テ省ク

大正十一年六月二十四日

樞密院書記官

親 王(東京ヲ除ク)

國務大臣

顧問官(委員ヲ除ク)

此右通

又

一海軍軍備制限ニ關スル條約御批准ノ件 本會

審查報告

一潜水艦及毒瓦斯ニ関スル五國條約御批准ノ件

委員會審查報告

右及配付候也

追テ海軍軍備制限ニ関スル條約譯文ノ正誤表

御下付相成候ニ付併テ及配付候

大正十一年六月二十四日

樞密院書記官

議長

副議長

顧問官 (委員タル)

穴右通

又

一海軍軍備制限ニ関スル條約御批准ノ件

一潜水艦及毒瓦斯ニ関スル五國條約御批准ノ件

右来ル二十八日(水曜日)午前十時會議被相開候

間説明員出席候様御取計相成度依命此段

及照會候也

大正十一年六月二十五日

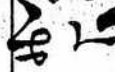
樞密院書記官


内閣書記官 御中


大正十一年六月廿八日發議

六月廿八日執行

議長 

副議長 

書記官長 

書記官 



案

一海軍軍備制限ニ關スル條約御批准ノ件

一潜水艦及毒瓦斯ニ關スル五國條約御批准ノ件

右本日開議ノ筈ノ處明二十九日(木曜日)午前十時

開議ノコトニ變更相成候依命此段及通知候也

大正十一年六月二十八日

區
密
院

秘書院書記官

内閣書記官

中

和

大正十一年六月二十八日(水曜日)本會議ノ為兩議
長・國務大臣及顧問官參集セラレタル處
前夜東伏見宮依仁親王殿下薨去被
遊タルニ因リ本日ノ會議ヲ止メ明日午前
十時ヨリ開議ノコトニ變更アリタリ

右ニ付

參集ノ副議長、各大臣及各顧問官ハ、
議長ヨリ其ノ趣口達セラレ、闕席ノ親王、
顧問官(都筑、黒木)ハ、電話ヲ以テ夫々
通報シ内閣及宮内省ハ、書面(別紙)

ヲ以テ通牒セリ

○

攝政殿下ハ書記官霞ヶ關離宮へ
參殿係官ヲ經テ別紙書面ヲ奉呈セ
リ

議事日程

- 一海軍軍備制限ニ關スル條約御批准ノ件
 - 一潜水艦及毒瓦斯ニ關スル五國條約御批准ノ件
 - 右本日開議ノ筈ノ處明二十九日(木曜日)午前
十時ヨリ開議ノコトニ變更ス
- 大正十一年六月二十八日

大正十一年六月二十七日

樞密院書記官

雍仁親王ヲ加ヘ
依仁親王ヲ除ケ

議長
副議長

右員申書ヲ付ス

親王 (東宮ヲ除ク)

國務大臣

顧問官

北条通

又

一支那ニ関スル九國條約御批准ノ件

御批准案

原文

譯文

千九百二十一年一十二年華盛頓ニ於ケル軍備制限會議ニ於テ採用セラレタル諸決議 (原文)

右譯文

以上ハ署名ニ配付済ニ付右略致カ、又ニ本行ヲ有リ

千九百十五年ノ日支交渉 (所謂二十箇條問題)ニ関シ千九百二十二年二月二日樞東總委會ニ於テ日本國委員幣原男爵ノ為レシレ陳述 (原文及譯文)

右追加御下付相成條ニ付及配付代

右條約說明書

華盛頓軍備制限會議ニ於テ採用セラレタル諸決議 (参考)

右ハ署名ニ配付済ニ付右略致カ、又ニ本行ヲ有リ

正誤表

岡野司任以下六大臣ハ配付ノ誤重
八日進改入済ニ付本行ヲ有リ

一支那ノ關稅ニ関スル條約御批准ノ件

臨
終
院

御批准案
原文

譯文

本條約說明書(年照)

以上各案、即付済、付有略致候

國野司馬以下方大臣へ、本条約を
以て存せし者

正誤表

國野司馬以下方大臣へ、本条約を
以て存せし者

一以上委員會審査報告

右及配付候也

大正十一年六月三日

樞密院書記官

親王(東宮ヲ除ク)

國務大臣

顧問官(委員ヲ除ク)
兼右通

又

及

一支那ニ関スル九國條約御批准ノ件 及 支那ノ関
稅ニ関スル條約御批准ノ件 委員會審査報告

一正誤表

右及配付候也

大正十一年六月二十七日

樞密院書記官

議長

副議長

顧問官(委員タル) 兼右通

又

一支那ニ関スル九國條約御批准ノ件

一支那ノ関稅ニ關スル條約御批准ノ件

右末七月一日(土曜日)午前十時會議被相開候間說

明貞出席候様御取計相成度依命此段及照會

候也

大正十年六月二十七日

樞密院書記官

内閣書記官

御中

正誤表

支那ニ関スル九國條約譯文

八頁 二行

誤右ノ通告

正其ノ通告

千九百二十一年一二十二年華盛頓ニ於ケル軍備制限會議ニ於テ採用セラレタル諸決議譯文

八頁 末行
一四頁 二行

誤特殊利權

正特殊ノ利權

(以上正誤ハ御下付相成候分)

千九百二十一年一二十二年華盛頓ニ於ケル軍備制限會議ニ於テ採用セラレタル諸決議後說明書

三二頁 二行

誤廣東灣

正廣州灣

別紙

(右正誤ハ外務省ヲ申紙ノ分)

別紙

正誤表

支那ノ関税ニ関スル條約譯文

誤

正

八頁 一四一五行

右原則ヲ實行スル
措置ヲ講スヘシ

右原則ヲ實行スル
ノ取極ヲ考スヘシ

(右正誤ニ御下付相成候)

支那ノ関税ニ関スル條約說明書

誤

正

二頁 四一六行

之ヲ實施シ得ヘク然ラ
ル場合ニ前田改訂ノ

場合ニ於ケルカ如ク改訂稅
率ニ關係國全部ノ承認
ヲ俟タル後始メテハ 行

同 六行

前ノ場合ニ於テモ

此ノ場合ニ於テ

同 九行

以上孰レノ場合ニ於テモ

右ノ場合ニ於テ

(右正誤ノ外勞者ヲ中越ノ系)
千本百十一年 千十一年 華盛頓ニ於ケル軍備制限
會議ニ於テ採用セラレシ 諸決議說明書

幸貞 二行

廣東清

廣州清

十本百十一年 廣東清

暹羅院

一太平洋方面ニ於ケル島嶼タル属地及島嶼タル領地ニ関スル四國條約並追加協定御批准ノ件
右御諮詢相成候ニ付左記ノ通審査委員指定セラル候議長ノ命ニ依リ此段及通知候也

審査委員長

伊東 顧問官

審査委員

金子 顧問官

穂積 顧問官

安廣 顧問官

一木 顧問官

富井 顧問官

平山 顧問官

有松 顧問官

倉富 顧問官

追テ議案左記ノ通及配付候也

大正十一年四月十三日

樞密院書記官

正副議長 (各具申書ヲ付ス)

親 王 (東宮ヲ除ク)

國務大臣

顧問官

宛各通

記

一山東懸案解決ニ関スル條約御批准ノ件

御批准案

原文

山東懸案解決ニ関スル條約ノ締結ニ付日本國及支那國委員カ一致シタル議事録記載ノ了解事項(原文本譯本)

一「ヤツツ」島及他ノ赤道以北ノ太平洋委任統治諸島ニ

関スル日米條約御批准ノ件

御批准案

原文

一支那ノ関税ニ関スル條約御批准ノ件

御批准案

原文

一太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ

関スル四國條約追加協定御批准ノ件

御批准案

原文

太平洋方面ニ於ケル和蘭國及葡萄牙國ノ島嶼タル屬地ニ関スル權利尊重ニ関スル聲明(和文及英文)

福 啓 院

大正十一年四月二十一日

樞密院書記官

正副議長 (各長官書記官)

親王 (東宮御降臨)

國務大臣

顧問官

宛各通

今後親王へ
赤員移送ヲ一
般トシテ直ニ
下シ決定
四月十九日

大正十一年四月廿六日 決議

四月廿六日 執行

書記官



議長

書記官長

副議長

案

一支那ニ関スル九國條約御批准ノ件

一潜水艦及毒瓦斯ニ関スル五國條約御批准ノ件

件

右御諮詢相成候ニ付山東懸案解決ニ関スル條約

御批准ノ件外四件審査委員審査事項ニ追加

樞密院

樞密院

セラレ候議長ノ命ニ依リ此段及通知候也
追テ議案^(及参照)左記ノ通及配付候也^(西議長及委員限ル)

大正十一年四月二十六日

樞密院書記官

正副議長(各具申書ヲ付ス)

親王(東宮ヲ除ク)

國務大臣

顧問官

宛各通

記

一支那ニ関スル九國條約御批准ノ件

御批准案
原文
譯文

千九百二十一年ノ二十二年華盛頓ニ於テ九軍備制限會議ニ於テ
採用セラルル諸決議(原文)
右譯文

本條約説明書(参照)

一潜水艦及毒瓦斯ニ関スル五國條約御批准ノ件

御批准案
原文
譯文

本條約解説概要(参照)

大正十一年六月

日發識
日決裁

月日執行

議長

副議長

書記官長

書記官

案

一支那ニ關スル九國條約御批准ノ件

右件ニ關シ今回左記議案追加御下付相成候條議
長ノ命ニ依リ及配付候也

大正十一年六月九日

樞密院書記官

樞密院

正副議長(右具申書ヲ付ス)

伊東委員長

金子、穂積、安廣、一木

委員長

富井、平山、有松、倉富

大進

記

一千九百十五年ノ日支交渉(所謂二十箇條問題)ニ関シ千九百

二十二年二月二日極東總委員會於日本國委員幣原男

爵ノ為レタル陳述

原文及譯文

大正十一年四月十四日

書記官

書記官長

案

一山東懸案解決ニ関スル條約御批准ノ件

外三件

右審査委員會來ル十七日(月曜日)午後一時
三十分ヨリ内櫻田門内本院事務所ニ於テ被相
開候間御出席相成度委員長ノ命ニ依リ此般
及通知候也

大正十一年四月十四日

樞密院書記官

正副議長

伊東委員長

各日書記官

金子、穂積、安廣、一木、

富井、平山、右松、倉富、

委員

又

一山東懸案解決ニ関スル條約御批准ノ件

外三件

右審査委員會來ル十七日(月曜日)午後一時
三十分ヨリ内櫻田門内本院事務所ニ於テ被相
開候間内閣總理大臣、外務大臣及海軍大臣
出席セシ候様御取計相成度命ニ依リ被
及照會候也

追テ別ニ説明負出席候テ差支無之候命ニ
依リ被般申添候也

大正十一年四月十四日

樞密院書記官

樞密院

内閣書記官

御中

電報案

神奈川県小田原

安原植泰候内官

樞密院

貴官委員ニ指定セラル末ニ十七日(月)午後一時
事ヲ委員會開カレ

大正十一年四月十四日

樞密院

電報案

大阪市金森旅館

清浦樞密院議長

二上
樞密院

八月(月曜)午前十時

休朝、委員會開カレ

カワロニナイ早業見ガキト
四國條約付協談ノ為

知候也

樞密院

大正十一年五月十三日

書記官



書記官長



潜水艦^{及毒瓦斯}案^{五國}
一 中東懸案解決ニ関スル條約御批准ノ件

外未件

右審査委員會明後十五日(月曜日)午前十時
ヨリ内閣田門内本院事務所ニ於テ被相關候間
御出席相成度委員長ノ命ニ依リ此般及通
知候也

大正十一年五月十三日

樞密院書記官

正副議長

伊東委員長

右具申書

金子、穂積、安廣、一木

委員

富井、平山、有松、常

宛各通

大正十一年六月十四日

書記官



書記官長

案

一太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ関スル四國

條約迄追加協定御批准ノ件

一支那ノ關稅ニ関スル條約御批准ノ件

右件審査委員會明後十六日(金曜日)午後一時半ヨリ

内櫻田門内本院事務所ニ於テ被相開候間御出席

相成度委員長ノ命ニ依リ此段及通知候也

樞密院

追テ支那ノ關稅ニ關スル條約ニ付前回審査委員會
ニ於テ御提出相成候實向事項ニ對スル調書外務省
ヨリ送付有之候間及配付候

大正十一年六月十四日

樞密院書記官

正副議長 (右具申書ヲ付ス)

伊東委員長 (具申書ヲ付ス)

金子、穗積、安廣、一木

委員花

富井、平山、有松、倉富

岩通

大正十一年六月廿一日

書記官

書記官長

案

一海軍軍備制限ニ關スル條約御批准ノ件

一潜水艦及毒瓦斯ニ關スル五國條約御批准ノ件

右件審査委員會明後二十三日(金曜日)午後一
時半ヨリ内櫻田門内本院事務所ニ於テ被相開
候間御出席相成度委員長ノ命ニ依リ此段及通
知候也

大正十一年六月二十一日

樞密院書記官

正副議長(具申書ヲ付ス)

委員長(具申書ヲ付ス)

金子、穂積、安房、一本

委員長

富井、平山、有松、倉富

右通

大正十一年四月十五日

書記官



書記官長

案

山東懸案解決ニ関スル條約御批准ノ件外三件
参照

一山東懸案解決ニ関スル條約説明書

一「マツ」島及他ノ赤道以北ノ太平洋委任統治諸島ニ

関スル日米條約解説概要

一「マツ」島問題ニ関スル交渉經過

(合冊)

樞密院

右外務省より送付有之候旨及配付候也

大正十一年四月十五日

樞密院書記官

正副議長 (各具申書ヲ附シ)

委員長

委員

宛各通

大正十一年四月廿二日

書記官



書記官長

案

山東懸案解決ニ関スル條約御批准ノ件外四件

参照

一 支那ノ関税ニ関スル條約説明書

一 太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ

関スル四國條約並追加協定説明書

一 海軍軍備制限ニ関スル條約説明書

樞密院

右外務省より送付有之候旨及配付候也

大正十一年四月二十一日

樞密院書記官

正副議長 (各長申書より)

伊東委員長

金子、穂積、安廣、一木

委員

富井、平山、有松、倉富

宛各通

海軍

官房機密第五九七號

大正十一年四月二十五日

海軍省副官 野村 吉三

樞密院書記官殿



海軍條約参考圖書ノ件

一、日、米、英、佛、伊保有及廢棄主力艦要目表

五十部

二、防備現状維持主要地點圖

十五部

右送付ス

終

四月二十五日
海軍省副官
野村吉三

初

案

謹啓傳者山東懸案解決ニ関スル條約御

批准、件審査報告案別冊の通、起草御

奉

供清覽候間、篤と下閱、遂の上明日の委員會

一、下

に於て、本案議、本成、及此、以得貴意候、故具

五月十二日

伊東委員長

清浦議長、濱尾副議長、

伊東委員長

望月委員、伊東

金子、穂積、安廣、一木

富井、平山、有松、森久、穴、各通

大正十一年五月十六日日發議

五月十六日執行

議長

副議長

書記官長

書記官



案

一、ヤップ島及他、赤道以北、太平洋委任統治諸島ニ関スル日米條約御批准、件外五件

右御諮詢相成目下審査委員會ニ於テ審査中ノ處追テ會議可被相開ニ付議案等左記、通議長ノ命ニ依リ特ニ及配付候也

大正十一年五月十六日

樞密院書記官

親王 (東宮ヲ除ク)

國務大臣

顧問官 (委員ヲ除ク)

宛各通

記

一「ヤップ」島及他、赤道以北、太平洋委任統治諸島ニ関スル日米條約御批准ノ件

(御批准案其ノ他裏ニ配付濟)

「ヤップ」島問題ニ関スル交渉經過

(合冊)(参照)

一支那ノ関税ニ関スル條約御批准ノ件

(御批准案其ノ他裏ニ配付濟)

本條約説明書(参照)

一太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ

関スル四國條約追加協定御批准ノ件

(御批准案其ノ他表ニ配付濟)

本條約竝追加協定説明書(参照)

一海軍軍備制限ニ関スル條約御批准ノ件

御批准案

原文

譯文

本條約説明書(参照)

日米英法伊保有及廢棄主力艦要目表(参照)

一支那ニ関スル九國條約御批准ノ件

御批准案

原文

譯文

千九百二十一年ノ二十二年華盛頓ニ於ケル軍備制限會議ニ於テ採用セラルタル諸決議(原文)

右譯文

本條約説明書

華盛頓軍備制限會議ニ於テ採用セラルタル諸決議説明書

(参照)

一潜水艦及毒瓦斯ニ関スル五國條約御批准ノ件

御批准案

原文

譯文

本條約解説概要(参照)



謹啓傳去副冊日米修訂の批准の件書查報告
 案申の年に行、書多層に於て 若仕に 配付向 旨 右
 中 行 一 一 一
 紅 呂

進之 昭 二十四日 (水曜日) 午後 一 時半 九 回 参 見

二 階 席 の 方 設

法 議 室 閣 下 座 長 存 在 間 昭 後 三 十 年 (水 曜 日)

多 分 十 時 分 前 掲 案 査 査 査 査 査 儀 の 為 参 見

一 區 界 完

分江五國の旨の事と申す右中書

本口三子 二上兵法

穂積頼問官問下



案

謹啓陳者太平洋方面に於ける島嶼に屬地及島

嶼に領地に關する四國條約に追加協定御批准ノ件

審査報告案別冊の通し起草奉送宜敷

惟間篤と内閣迷の上津申の要を會に於ての審

明後日

監 察 完

議程下及此取得貴意候

敬具

六月十日

伊東委負長

清浦議長、濱尾副議長

伊東委負長

望具申書ヲ付ク

金子 穂積、安廣、一木

富井、平山、有根、倉富

委負宛若通

和



案

謹啓陳々海軍軍備制限ニ関スル條約御批

准ノ件茲潜水艦及毒瓦斯ニ関スル五國條約

御批准ノ件審査報告案別冊の通り起草

奉供言説及万篤と候閱悉の上明後日の委員

會ニ於テ御審議被下及此長官黄之旨 敬具

六月廿一日 伊東委員長

清浦議長、濱尾副議長

伊東委員長 以上具申す所附ス

金子、穂積、安廣、一本、富井、

平山、有松、倉富

馬久宛 分達

案

禮部法支那ニ関スル九國條約御批准ノ件

支那ノ関税ニ関スル條約御批准ノ件 審査

報告案別冊の通り起草奉供覧覽及冒箋と

法閱悉の上明後日^{午後}の委員會ニ於テ御審議被下

及此長以貴意為結果

六月二十四日

伊東委員長

清浦議長、濱尾副議長

伊東委員長

以上具申書ヲ附ス

金子、穂積、安廣、一本、富井、

平山、有林、倉富、

委員宛 為進

山東懸案解決ニ関スル條約御批准ノ件
外六件委員會

第一回

四月十七日(月)午後一時半

第二回

四月十九日(水)午後一時半

口頭通知

第三回

四月廿一日(金)午後一時半

口頭通知

第四回

四月廿四日(月)午後一時半

委員
會合

口頭通知

第五回

四月廿五日(火)午前十時

口頭通知

第六回

四月廿六日(水)午後一時

區

系

完

口頭通知

第七回 五月廿七日(木)午前十時

口頭通知

第八回 五月廿八日(金)午後一時半

口頭通知

第九回 五月廿九日(土)午前十時

口頭通知

第十回 五月一日(月)午前十時

口頭通知

第十一回 五月二日(火)午後一時半

口頭通知

第十二回 五月甲(水)午前十時

口頭通知

第十三回 五月六日(土)午前十時

口頭通知

第十四回 五月八日(月)午前十時

口頭通知

第十五回 五月十日(水)午後二時

口頭通知

第十六回 五月十二日(金)午前十時

口頭通知

第十七回 五月十三日(土)午前十時

口頭通知

第十八回 五月十五日(月)午前十時

第十九回 五月十六日(火)午後一時半

口頭通知

第廿四回

五月十八日(木) 午前十時

口頭通知

第廿二回

五月十九日(金) 午前十時

口頭通知

第廿三回

五月廿二日(月) 午前九時

口頭通知

第廿三回

五月廿三日(火) 午後一時半

口頭通知

第廿四回

五月廿四日(水) 午後一時半

口頭通知

第廿五回

五月廿五日(木) 午前十時

口頭通知

第廿六回

五月廿六日(金) 午後一時半

第廿七回

五月廿九日(月) 午後一時半

口頭通知

第廿八回

五月三十日(火) 午後一時半

口頭通知

第廿九回

五月三十一日(水) 午後一時半

口頭通知

第三十回

六月一日(木) 午後一時半

口頭通知

第卅一回

六月二日(金) 午後一時半

口頭通知

第卅二回

六月三日(土) 午後一時半

口頭通知

口頭通知

第廿三回

六月五日(月)午前九時

口頭通知

第廿四回

六月六日(火)午後一時半

口頭通知

第廿五回

六月七日(水)午後一時半

口頭通知

第廿六回

六月九日(金)午後一時半

口頭通知

第廿七回

六月十六日(金)午後一時半

第廿八回

六月廿三日(金)午後一時半

第廿九回

六月廿六日(月)午後一時半

口頭通知

休了

大正十一年九月十四日發議

九月十四日執行

書記官長



議長

書記官長

副議長

案

一海軍准士官及下士官ヲ判任文官ニ任用ノ件

一海軍下士官兵服役令中改正ノ件

右来ル二十日(水曜日)午前十時會議被相關候

間御出席相成度議長ノ命ニ依リ此段及通

知候也